



寄付のたより

～環境特集～

レディーフォー遺贈寄付サポート窓口

お気軽にご連絡ください

通話料
無料電話

☎ 0120-948-313

受付時間：平日10時～17時（年末年始を除く）



ホームページは
こちらからも
ご覧いただけます

<https://izo.readyfor.jp/>



ホームページはこちらから

レディーフォー 遺贈寄付





団体名：公益社団法人 日本ナショナル・トラスト協会

設立年：1992年9月

住所：東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル

代表者名：会長 池谷 奉文

〔活動概要〕

日本各地の豊かな自然を守るため、土地を買い取るナショナル・トラスト活動に取り組む全国組織。トラスト活動に関する調査研究および情報収集、普及啓発や法整備に向けた政策提言にも注力している。

日本の豊かな自然を、 100年、200年後の未来へつなぐ

日本ナショナル・トラスト協会の総務部長の中安様、鈴木様にお話を伺いました。

Q. 日本ナショナル・トラスト協会様のご活動内容と、いただいた寄付金の活用先について教えてください。

－私たちは、自然環境を守るために土地を買い取り・保全するナショナル・トラスト活動を行っています。「ナショナル・トラスト」という言葉は日本ではあまり知られていませんが、「National(国民)」が「Trust(信託する)」という意味があり、個人がお金や土地を団体に託し、みんなの力で自然を守っていくという活動です。

この活動はイギリスで100年以上前に始まり、日本では60年前に鎌倉の御谷(おやつ)の森でスタートしました。日本各地には地域ごとに活動するトラスト団体がありますが、当協会は、そうした地域活動を支援しつつ、全国レベルで重要な土地の取得を進めるために30年前に設立された全国組織です。

皆様からいただく寄付金は、主に土地の取得と管理のために活用させていただいています。私たちは20年前から土地の取得を開始し、現在では全国に60か所、自然豊かな森や湿地を所有し、守っています。

第1号地の「富士山高原トラスト」(約1000万円)は、ちょうど遺贈寄付をいただいたタイミングだったこともあり、取得への大きな後押しとなりました。

遺贈寄付により最初の土地取得を実現できたことで、その後の土地の買い増しや受贈が進むきっかけとなったため、大変ありがたく思っています。

Q. 第1号地を取得するきっかけは、遺贈寄付だったのですね。土地の取得はとても時間がかかりそうですし、保全活動も大変なイメージです。

－開発が進む富士山周辺の土地のように、比較的早く(1年以内)取得できることもあれば、奄美大島や北海道などの絶滅危惧種の生息地のように、地元の協力や売り主の意向の状況によって、10年以上かかるケースもあります。地元の不動産業者から情報を得たり、時には土地の所有者に直接電話して交渉することもあります。やは



り簡単ではありません。

また、取得した土地をツアー等で活用している団体もありますが、私たちは「自然をそのまま残すこと」を最優先としており、観光や環境教育の視点からの活用は今後の課題です。維持管理については、定期的な巡回や災害時の対応などは職員が行っており、地域によっては地元のNPOなどに協力をお願いしながら対応しています。

Q. 寄付者様からはどのようなお声をいただくのでしょうか？

－「貢献が形に見えるのがあるがたい」という声を多くいただいています。

例えば、奄美大島の広大な森を取得した際、27の区画ごとに土地の買い取りを支援でき、その区画の名前もつけられる「一筆オーナー」を募集したところ、「面白い企画をありがとう」と感謝されたことが印象的でした。厳密には土地の持ち主になるわけではありませんが、「アマミノクロウサギがすむ森の保護を支援した」「社会貢献に携わった」と実感していただけたようです。

また、ナショナル・トラスト活動はイギリスでは非常に有名で、12人に1人は会員になっていると言われています。イギリス旅行などでナショナル・トラスト活動を知り、日本にも同様の活動があることを知って寄付してくださる方もいらっしゃいます。

遺贈寄付を検討される方の中には、ご自身の周りの自然を残したいという思いを持ちつつも、個人では難しいと感じている方もいらっしゃると思いますが、私たちの活動は、その思いをより大きな規模で、長期的に実現できると感じています。

Q. 遺贈寄付を受けた場合に、寄付金を活用したい事業・活動があれば教えてください。

－現在、特に力を入れて保全を目指しているのは、南西諸島(西表島、石垣島、奄美大島など)です。これらの地域は希少な生き物が多く生息している一方で、開発も進んでおり、早急な対応が必要です。また、日本の国立公園は全てが国の土地ではなく、ゴルフ場や太陽光発電所などが建設できるエリアもあるため、公園内の私有地の自然を守ることも重要です。

それから、ナショナル・トラスト活動をより広く知っていただくための普及啓発や、活動を進めやすくするための法整備に向けたロビー活動(政策提言など)にも力を入れていきたいです。

Q. 最後に、読者のみなさまへメッセージをお願いいたします。

－ナショナル・トラスト活動は、100年、200年後の将来を見据えて自然を守っていく、非常に長期的な活動です。遺贈寄付をご検討されている方の中には、ご自身の亡くなった後の世界をより良くしたい、次世代のために何かを残したいという思いをお持ちの方が多いかと思います。まさに、ナショナル・トラスト活動は、そのような皆様の「日本の未来のために」という思いを託せる活動だと考えています。

皆様からのご支援は、「土地」という形でその後も残り、未来につながります。どのような土地を、どのような目的で保全しているのかを丁寧にお伝えすることで、活動の意義や長期的な取り組みをご理解いただけるよう努めてまいります。ぜひ、私たちの活動の趣旨をご理解いただき、ご支援をいただければ幸いです。

中安様、鈴木様、貴重なお話を誠にありがとうございました！

